

2012年3月12日

会員各位

日本ファイナンス学会
「研究観望会」幹事 本多 俊毅

第21回研究観望会開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本ファイナンス学会第21回研究観望会を下記の要領により開催することといたしました。今回は「**国債市場とマクロ環境：マクロファイナンス・アプローチの概観**」をテーマに、裏面要旨のとおり、たいへん興味深い報告がなされる予定ですので、ふるってご参加たまわりますようお願い申し上げます。ご出欠につき、同封の申込書（葉書/Fax）にて3月27日（月）までにご返事いただければ幸いです。ホームページからのお申込も可能ですのでご利用下さい(<http://www.nfa-net.jp>)。なお、参加者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

また、研究観望会では、別紙要領のとおり、報告者を募集しております。自薦他薦ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。とりいそぎ、ご案内する次第です。

敬 具

記

テーマ：「**国債市場とマクロ環境：マクロファイナンス・アプローチの概観**」

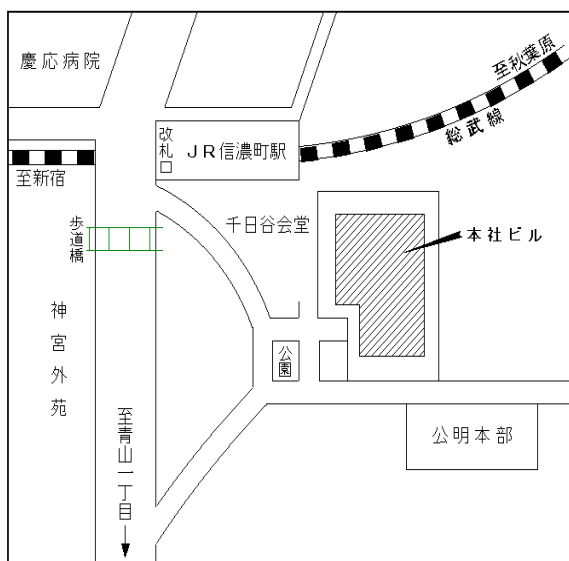
報告者：小枝 淳子 氏（東京大学大学院経済学研究科）

日 時：2012年3月29日（木）午後6時30分より

会 場：一般社団法人 金融財政事情研究会 2F第1会議室（下図参照）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）Tel：03(3354)2377

JR「信濃町」徒歩5分



研究観望会のお問合せ先：

幹事 本多 俊毅

（一橋大学国際企業戦略研究科助教授）

Tel：03(4212)3100

E-mail：thonda@ics.hit-u.ac.jp

申込先：日本ファイナンス学会事務局
（阿部・小林(奈)）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）

Tel：03(3354)2377

Fax：03(3359)7947

E-mail：honbu@nfa-net.jp

URL：http://www.nfa-net.jp

以上

第 21 回研究観望会

「国債市場とマクロ環境：マクロファイナンス・アプローチの概観」

東京大学大学院経済学研究科

特任講師 小枝 淳子

報告の概要：

世界的な不況や、それに対応した国債発行の増加や金融緩和を背景として、長期金利の動向をめぐる議論に注目が集まっている。例えば、日本で10年以上続く低い長期金利は、長引くデフレや低成長によって引き起こされたと議論される。また、長期金利が上がるたび、期待成長率の増加に伴う「良い」金利上昇なのか、それともリスクプレミアム増加に伴う「悪い」金利上昇なのか、または期待インフレ増加の影響なのかといった解釈が争われる。この混乱は、金利の要素分解が、マクロ環境と十分に結び付けられたモデルによる裏付けを欠いていることに一因がある。

本報告では、近年発達しているマクロファイナンス・アプローチを紹介していく。このアプローチでは、ファイナンスとマクロ経済学、それぞれの視点を融合することに意味がある。そこでまず、各分野で、国債の利回りとマクロ変数の関係について、どのような理論的見方がされてきたかを紹介し、さらに既存の理論の限界についても述べる。

理論モデルに課題が残るなか、実証ファイナンスの分野では、誘導型の金利モデルが発達してきた。中でも近年、多要素アフィン型モデル(ATSM)にマクロ構造を加えたマクロファイナンス・アプローチの発展が目覚ましい。そこでこのアプローチを、特にマクロ構造をどう加えるかに注目しながら、説明していく。

最後に、現在のマクロファイナンス金利モデルが、次の諸論点について、どのような結論を出しているのかを、具体的に説明していく。

- マクロ変数で国債利回りの変動をいかに説明できるか？
- タームスプレッドは有効な景気の先行指標たりうるか？
- リスク・プレミアムのマクロ的解釈とは？
- ゼロ金利環境をどう考えるか？

日本ファイナンス学会「研究観望会」

報告者募集要領

研究観望会運営委員会

代表幹事 本多 俊毅

研究観望会は、世界のファイナンス研究の最新動向をテーマ別に展望するもので、各トピックに関する最新の成果をサーベイした報告を通じて、会員各位の知識・情報の整理に役立てるとともに、会員の研究活動の促進に寄与することを目的としたものです。この目的にそった報告者を下記要領にて募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。なお、報告内容については、幅広く、理論、方法論、実証研究、制度の現状と展望等々にいたるまで歓迎いたします。

とりわけ、若手研究者を歓迎し、研究奨励的な運営を企図しております。必要に応じた交通費、宿泊費を支給するとともに、報告に対する研究奨励金も支給いたします。

ご応募いただきますと、研究観望会運営委員会が合議のうえ諾否を決め、結果を応募者個人に直接お知らせいたします。

ご応募にあたっては、研究観望会の円滑な運営のため、以下の必要書類を各3部ご用意のうえ、日本ファイナンス学会事務局までお送りください。

- (1)報告論文のテーマと章建ての計画
- (2)各章各節の詳細な要旨
- (3)報告分野に関する参考文献表
- (4)報告者の略歴とこれまでの研究成果
- (5)報告分野と関連した報告者の論文等著作物がある場合は、そのコピー。

なお、完成論文がある場合は(1)～(3)に代替できます。

応募先／問合せ先

日本ファイナンス学会 研究観望会

Tel:03(3354)2377 Fax:03(3359)7947

E-mail:honbu@nfa-net.jp

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

一般社団法人金融財政事情研究会 内